

令和5年度 静岡県森林・林業技術研究発表会講評

(はじめに)

- ・ 審査委員を代表いたしまして令和5年度静岡県森林・林業技術研究発表会の講評を申し上げます。
- ・ 発表者の皆様は、多忙な業務の中、日々問題意識を持ち、技術の研鑽に努められ、今回、このような場において発表されたことに、深く敬意を表します。
- ・ また、発表者を支援していただきました職場などの関係者の皆様、並びに熱心に最後まで聴講いただきました会場の皆様に御礼申し上げます。

(発表の内容)

- ・ この発表会は、森林との共生に関する技術の向上や森林・林業に係る産官学等が連携した研究開発や取組の推進及びその成果の普及を目的に開催するもので、今回で52回を数える発表会となりました。
- ・ 今年度は11件の発表が審査対象となっており、発表の内容から2つの部門に分けて審査いたしました。1つは、治山や林

道事業などに関する発表を「治山・林道部門」とし、6件の発表がありました。また、森づくりや林業振興などに関する発表を「森林・林業部門」とし、5件の発表がございました。

- ・発表は、民間の関係者からの発表が1件、民間と県の共同から3件、県から7件となっており、その内容は、公共工事やその施設の管理、事業の効果、新技術の導入など、様々な分野や視点から発表が行われました。

(全体の講評)

- ・それでは、まず、全体的な講評から申し上げます。発表全体の講評として2点ほど申し上げます。
- ・1点目として、「発表内容の創造性」であります。
- ・現場が抱えている様々な問題に対して、課題の整理、原因の分析、新たな提案をあげ、業務の改善に寄与するであろう発表が多く見受けられました。
- ・なかでも、ドローンやオルソ画像等のデジタル技術を活用した労務の省力化、作業の効率化に向けた新しい取組や官民連携の取組など、新たな課題の解決につながる発表がありました。

- ・ 2点目として、「考察、研究成果」についてです。
- ・ 具体的な改善策が示されていて、業務に活用する視点が良くとらえられていました。今後、更なる検証を進め、業務の効率化につながることを期待しています。
- ・ 一方で、考察をまだ深く掘り下げれば、さらに良い発表になったと思われるものが見受けられました。

(優秀発表の選定)

- ・ 次に、優秀発表を選考した結果について申し上げます。
- ・ 審査方法は、15名の審査委員が発表課題ごとに「テーマの設定」、「創造性」、「考察と成果」、「発表態度」、「資料の整理・わかりやすさ」の5つの項目から審査しました。
- ・ 審査結果をもとに、審査委員会で協議した結果、「治山・林道」、「森林・林業」の部門別に合計6件の優秀発表を選定しました。
- ・ それでは、優秀課題を発表します。まず、「治山・林道部門」ですが、3件の優秀発表を選定しました。
- ・ 1件目は、発表 No. 1 「林道金時線におけるジオテクスタイ

ルを用いた路床改良について」です。

- 2件目は、発表 No. 6 「既設バットレス式治山ダムの補修方法の検討」です。
- 3件目は、発表 No. 10 「台風 15 号災害箇所における VCCO 型応急対策工の実施と効果」です。
- 時間の都合上、この内、発表 No. 1 「林道金時線におけるジオテキスタイルを用いた路床改良について」の講評を申し上げます。
- ・関東ローム層という特殊な条件の中で、積極的に新技術の導入に取り組んだ事例でした。
- 他工法との比較や経済面からの検討を実施したことが分かりやすく整理されておりました。今後、林道工事への展開が期待されます。
- 次に、森林・林業部門です。森林・林業部門は、3件の優秀発表を選定しました。
- 1件目は、発表 No. 9 「静岡県における空撮ドローンの間伐事業への活用－愛鷹山麓の3残1伐列状間伐の事業地での事

例一」です。

- 2件目は、発表 No. 11 「広葉樹利用の新たな可能性に向けた取組について」です。
- 3件目は、発表 No. 5 「森林整備事業におけるドローンの活用」です。
- 時間の都合上、この内、発表 No. 9 「静岡県における空撮ドローンの間伐事業への活用－愛鷹山麓の3残1伐列状間伐の事業地での事例－」の講評を申し上げます。
- デジタル技術を活用した間伐検査の業務省力化、現場作業の効率化に向けた産官学連携の新しい取組であり、調査、分析、課題への対応が整理されており、分かりやすくまとめられていました。
- 今後、現場での実践を通して、他地域への波及効果が期待できます。
- 以上が優秀発表でございます。おめでとうございます。
- 優秀発表につきましては、今後、全国などの発表会に参加いただく場合もございますので、担当課から依頼がありましたら御協力をお願いします。

(結び)

- ・最後に、この研究発表会につきましては、来年度も同時期に開催する予定でございますが、今年度同様に多くの皆様に御参加いただき、日頃の課題へ対応や新たな可能性への取組など、多くの発表が行われることを期待いたしております。
- ・御来場の皆様におかれましては、長時間に亘り、ご清聴ありがとうございました。